

保健所名	テーマ	発議・論点	主な意見	決定事項
一宮	1 管内の歯周病対策の推進 2 管内の糖尿病の合併症管理における医科歯科連携の推進	・愛知県歯科口腔基本計画について情報提供 ・歯周疾患検診結果、各市取組の情報提供、意見交換 ・各機関における糖尿病の発症・重症化予防と関連した歯周病対策の取組の意見交換	・歯周疾患検診の受診率増加のため、60歳、70歳にも個別通知を要望する。 ・地域のよい施策が評価されない部分がある。三師会の協力のもと、見える形にし、評価していくとよい。	●医科歯科連携の取組みについて、 <b>糖尿病連携手帳の数や、協力機関の数等</b> を示し <b>見える形で評価</b> をしていく。 ・三師会においては会員の現状の把握について協力いただく。
瀬戸	1 歯周病対策の取り組み 2 糖尿病に関する医科歯科連携の取り組み	・成人歯科検診の受診率向上への取組み状況 ・住民への歯周病の普及啓発	・妊産婦歯科健診について、産婦人科医師会の協力で受診勧奨をしている。	・各市町関係部署間の連携も促しながら、取り組みが推進するよう情報提供や課題の共有検討を継続する。
春日井	1 医科歯科連携 ～連携アンケートの調査結果から～ 2 行政が行う保健事業との連携	●アンケート結果から医療連携の現状を確認し今後の展開を検討 ○市における <b>特定健診、人間ドックと歯科保健事業の連携</b> の継続	・内科医の歯科との連携は循環器外科と近い状態であった。 ・歯科医師会員に再確認をする。 ○市では、 <b>特定健診と歯周疾患検診を繋げる</b> など取り組みを拡充していきたい。	・医療連携アンケートの結果は出席の代表者が還元する。 ・市健康増進課、保険医療年金課と健康管理事業団で一層連携し、 <b>市民病院も動きかけ歯周病、糖尿病対策を推進</b> していく。
	小牧地区における糖尿病と歯周病に関する地域連携	●アンケート結果から <b>歯科医院における糖尿病患者への指導状況</b> を確認し、今後の展開を検討 ○ <b>特定健診との連携を継続推進</b> するための検討	・小牧市医師会内科医会主催で歯周病の講演会を企画している。 ・医師会員対象に連携アンケート調査を実施したらどうか。 ○ <b>特定健診問診票に追加した「歯の健康づくり得点」</b> は年1回市民に実施する良い機会と考える。	・小牧いきいきプラン歯の健康部会が主体となり、医療連携アンケート調査を企画する。 ・医師会内科医会主催の講演会は関係者の参加を積極的に促す。
江南	1 糖尿病患者の合併症管理をするための医科歯科医療連携の推進 2 糖尿病関連歯科連携事業の現状と課題	●平成25年度実施の <b>歯科医師会員への連携状況のアンケート</b> 調査について状況を共有 ●江南厚生病院口腔外科を介した医療連携について <b>歯科医師会の意向を確認し連携を図る</b> 。	● <b>尾北・犬山扶桑歯科医師会と江南厚生病院内分泌との連携</b> で糖尿病患者を歯科へ紹介する連携事業を計画中。歯科医師会は選抜して対応歯科医院リストを作成。 ●治療に満足していてもHbA1cが下がらない受入れがよい患者を選択し <b>歯科受診を促したい</b> 。 ○特定保健指導時に <b>歯周病治療のできる歯科診療所リスト</b> があるとよい。	● <b>江南厚生病院の糖尿病患者</b> で受入れがよい人を選択し、 <b>パンフと対応歯科診療所一覧表を配布</b> 。 <b>歯科受診後、医科へ情報を提供</b> する。ツールは年度内に検討し平成27年度から開始する。 ・市町は今後も普及啓発に努める。
清須	1 医療連携による糖尿病と歯周病のアプローチ 2 糖尿病及び糖尿病ハイリスク者への歯周病対策	● <b>薬剤師会員対象の調査</b> :「糖尿病患者に歯周病と糖尿病の関連等の情報提供をしている」 <b>43.9%</b> ● <b>歯科医師会員対象の調査</b> :「 <b>医師と連携し糖尿病連携手帳等により糖尿病の合併症管理を実施している</b> 」 <b>20.9%</b> ○管内市町の <b>特定健診・特定保健指導時の糖尿病と歯周病の関連等の啓発</b>	● <b>糖尿病連携手帳には有益な情報が盛り込まれている</b> 。地域での糖尿病治療では、医師、歯科医師、薬剤師等による <b>チーム医療</b> が大事。 ・糖尿病患者に歯周病と糖尿病の関連に関するリーフレット等があると薬剤師の意識も高まり患者に助言できる。	●保健所は <b>薬剤師会員</b> に県作成リーフレットを配布し、 <b>薬剤師は糖尿病患者等への情報提供に活用</b> する。 ・医師会、歯科医師会及び薬剤師会の会員対象に糖尿病の合併症管理に関する調査を行う。
津島	1 今からできる歯周病対策 2 実行できる歯周病対策を考える	・「40歳で歯周炎を有する者の割合の減少」「かかりつけ歯科医に定期受診を受ける者の増加」の達成を目指し、効果的な歯周病対策の推進方策について意見交換	・対象者へのアプローチの仕方が問題ではないか。歯科定期受診が必要なことは認識しているのに行っていない。優先順位が低いので、そこを持ち上げる働きかけが必要である。 ・40歳だけ見ているのは目標であって目的ではない。多くの受診者のある歯科検診を実施していても、それが反映される評価指標がない。	・受診率は目標であり目的ではない。目的は歯周病にならない人を増加させること。歯周疾患の予防につながる <b>歯科事業</b> を今後も管内で検討していく。
半田	1 糖尿病と歯周病を取り巻く医科歯科医療連携 2 行政が取り組む歯周病対策と糖尿病対策の連携	・医療現場における糖尿病患者の歯周病管理の構築を目指すため、 <b>チーム医療の視点から医療連携の在り方の再認識</b> ・住民の糖尿病関連データから課題・問題点を整理し、市町が取り組む事業の情報共有と <b>医科歯科連携につなげるための意見交換</b>	●半田病院からの逆紹介に対して <b>歯科診療所からの返信率が低い</b> 。理由を把握し対策を考える必要がある。	・医療現場における現状と市町が <b>特定健診結果</b> を活用する状況の把握をしながら顔の見える関係づくりができた。 ・歯周病と糖尿病の相互関係、歯周病と糖尿病と肥満の関係性等について深く理解ができる機会となった。
知多	常滑地域における糖尿病の合併症(歯周病)対策 1 歯周病と糖尿病の医科歯科連携 2 常滑市の取り組み	・連携の推進状況を確認 ● <b>連携ツールとしての糖尿病連携手帳の活用等</b> の具体的な取り組み方法について検討 ○ <b>糖尿病・糖尿病予備群を対象とした市事業の情報共有</b> と、医療連携の展開をふまえた啓発事業等に取り組むきっかけづくり	● <b>歯科診療所における糖尿病連携手帳の活用</b> は次第に進んでいる。 ●市民病院では継続的に手帳配布を行っている。さらにかかりつけ歯科医への連携を促す。 ・医師会は手帳を介した連携について会員に周知し、歯科からの受診勧奨があることも承知する。	● <b>新市民病院を中心とした新たな医療体制のもとで、歯科医師会、医師会の三者による糖尿病連携手帳をツールとした医療連携推進</b> を図る。 ・医療連携の動きを踏まえて市の啓発事業を進め、健康増進計画の推進に繋げる。
衣浦 東部	1 へきなん健康づくり21プラン(第二次)の推進 2 糖尿病と歯周病の医科歯科連携及び保健医療連携の推進	○ <b>へきなん健康づくり21プラン(第二次)の推進</b> について情報共有 ○糖尿病と歯周病の <b>医科歯科連携及び保健医療連携の推進</b> に向けて碧南市における取組みの充実と継続について意見交換	○糖尿病患者に医科から歯科受診を勧めるより、最初の取組みとして行政の <b>歯科健診</b> を勧めてはどうか。 ○歯科医師会は医科からの紹介に全員が対応できるよう努めている。 ○薬剤師対象の講演が定期的に開催されるとよい。 ● <b>糖尿病連携手帳やお薬手帳の活用が有効</b> である。情報提供書は医師の手間、患者にも費用負担がある。 ○歯科受診時に糖尿病連携手帳を持参してもらい、既往歴を積極的に聞くよう努めたい。	○碧南市の取組の現状から、発症予防の取組の充実が望まれることが明確となった。 ○ <b>保健所提供の啓発媒体を活用</b> する。 ○碧南市における <b>医科歯科連携及び保健医療連携の推進</b> について継続の合意が得られた。
西尾	糖尿病合併症における医科歯科連携の推進	● <b>糖尿病合併症管理連携状況を報告</b> し、各関係機関の役割、連携を再確認し、医科歯科医療連携の体制整備を図る。 ○ <b>特定健診の要医療者等へ歯科受診勧奨を進めていくサイクル</b> の提案の協議。	・医療連携については、 <b>コメディカルへの意識向上</b> を図ることが影響力大である。 ・歯科側からも眼科等への受診勧奨を促していくことが糖尿病患者の意識を変えていく。 ○特定健診要医療者等への <b>歯科受診サイクルには特定健診受診率を上げる</b> ことが重要である。	● <b>糖尿病連携手帳等を活用した医科歯科連携は今後も継続</b> していく。 ・ <b>糖尿病と歯周病の普及啓発ポスター</b> は医師会等関係機関へ配布していく。
新城	事業所における歯周病対策への取り組み	・市町村や病院事業の中で事業所への歯周病対策として取り組んでいること、取り組んでいけそうなこと。	・事業所では社内のトップに理解されないと健康教育の時間も取れない。 ・ <b>事業所健診で歯の健康づくり得点</b> を実施。集計結果を広報紙に掲載し、普及啓発した。 ・事業所で市町村の歯周疾患検診を活用してもらえるようポスターや配布物などを作成しPRしていきたい。	・保健所は事業所職員へのアンケート作成と集計に協力していく。 ・歯周疾患検診を事業所へもPRできるよう市と検討、支援していく。
豊川	糖尿病・歯周病の重症化予防の推進に向けて～医科・歯科・薬科における歯周病対策と糖尿病対策の連携～	○ <b>蒲郡市において糖尿病やメタボの状況の課題</b> について重点的に取り組んでいる。 <b>歯周病と糖尿病対策</b> の情報を共有し、重症化予防のための方策を検討。	・昨年度の会議後、医師会、歯科医師会、薬剤師会、市保健センターはそれぞれに周知等取り組んだ。今後も継続して取り組む。 ・市民病院の糖尿病教育入院患者を退院後いかにかかりつけ歯科医につなげるかが課題。 ・リーフレットの継続配布が必要。	・市で実施する“糖尿病大学”や特定健診保健指導等で啓発をしていく。 ● <b>診療所向け、歯科医院向けポスターを配布</b> する。 ● <b>薬局向けにラミネート仕様の啓発リーフレットを配布</b> する。